

第3章 移動に関する地域の現状・課題

3-1. 移動に関する地域の現状

3-1-1. 町民アンケート調査

■調査対象 長洲町在住の15歳以上の方1000人（無作為抽出）

■回収状況 回収数381人 有効回収率38.1%

■回答期間 令和5年7月26日（水）～令和5年8月14日（月）

■調査項目

- 1.自身のことについて
- 2.長洲町の公共交通全般に関する評価について
- 3.鉄道（JR）の利用について
- 4.有明フェリーの利用について
- 5.タクシーの利用について
- 6.きんぎょタクシーの利用について
- 7.外出時のことについて
- 8.有明海沿岸道路について
- 9.今後の公共交通について
- 10.公共交通に関する意見等

■その他

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

自身のことについて

(1) 年齢

回答者の年齢は「70歳代(27.0%)」がもっとも多く「60歳代(19.9%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
10歳代	13件	3.4%
20歳代	21件	5.5%
30歳代	29件	7.6%
40歳代	43件	11.3%
50歳代	47件	12.3%
60歳代	76件	19.9%
70歳代	103件	27.0%
80歳代以上	49件	12.9%
未回答	0件	0.0%

(2) 運転免許の保有状況

運転免許の保有は、「自動車(72.5%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
自動車	332件	72.5%
バイク	83件	18.1%
返納済み	18件	3.9%
持ったことがない	25件	5.5%
未回答	0	0.0%

(3) 自転車、自動車、バイクなどの保有状況

乗り物の保有状況は、「自動車(60.9%)」が最も多く、「自転車(26.0%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
自転車	133件	26.0%
自動車	312件	60.9%
バイク	42件	8.2%
持っていない	25件	4.9%
未回答	0	0.0%

(4) よく利用する町内の公共交通機関

よく利用する町内の公共交通機関は、「鉄道(JR)(49.3%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
鉄道(JR)	188件	49.3%
有明フェリー	32件	8.4%
タクシー	31件	8.1%
きんぎょタクシー	9件	2.4%
未回答	121件	31.8%

鉄道（JR）の利用について

（５）鉄道（JR）の利用頻度

鉄道（JR）の利用頻度は、「ほとんどあるいは全く利用しない（54.2%）」が最も多く、「ときどき利用する（27.3%）」が２番目に多くなっています。

設問	件数	割合
日常的に利用する	13	3.5%
ときどき利用する	102	27.3%
車やタクシーなどの利用ができないときに利用する	48	12.9%
ほとんどあるいは全く利用しない	202	54.2%
その他	5	1.3%
未回答	3	0.8%

（６）鉄道（JR）の主な利用目的

鉄道（JR）の主な利用目的は、回答者では「趣味・娯楽（23.2%）」が最も多く、「買い物・飲食（20.4%）」が２番目に多くなっています。

設問	件数	割合
通勤	10	3.2%
通学	14	4.5%
買い物・飲食	64	20.4%
通院	25	8.0%
趣味・娯楽	73	23.2%
帰省	5	1.6%
その他	13	4.1%
未回答	110	35.0%

（７）JR長洲駅を利用して不便・不満に感じること

JR長洲駅を利用して不便・不満に思うことは、「自家用車などの方が便利（24.2%）」が最も多く、「運行本数が少ない（18.7%）」が２番目に多くなっています。

設問	件数	割合
運賃が高い	32	4.3%
出発地から目的地までの所要時間が長くなる	25	3.4%
列車の待ち時間が長い	57	7.7%
運行本数が少ない	139	18.7%
列車の時間に合わせて行動するのが面倒	31	4.2%
運行時刻（時刻表）など運行情報が分かりにくい	20	2.7%
駅が遠い	47	6.3%
他の公共交通機関との接続が悪い	51	6.9%
目的地の近くまで行けない	30	4.0%
バリアフリーに対応できていない	88	11.8%
自家用車などの方が便利	180	24.2%
不便・不満に感じることはない	33	4.4%
その他	2	0.3%
未回答	8	1.1%

有明フェリーの利用について

(8) 有明フェリーの利用頻度

有明フェリーの利用頻度は、「ほとんどあるいは全く利用しない(68.8%)」が最も多く、「ときどき利用する(28.5%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
日常的に利用する	1	0.3%
ときどき利用する	107	28.5%
ほとんどあるいは全く利用しない	258	68.8%
その他	4	1.1%
未回答	5	1.3%

(9) 有明フェリーの主な利用目的

有明フェリーの主な利用目的は、回答者では「趣味・娯楽(41.2%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
通勤	1	0.4%
通学	3	1.1%
買い物・飲食	7	2.5%
通院	1	0.4%
趣味・娯楽	117	41.2%
帰省	9	3.2%
その他	5	1.8%
未回答	141	49.6%

(10) 有明フェリーを利用して不便・不満に思うこと

有明フェリーを利用して不便・不満に思うことは、「不便・不満に感じることはない(21.1%)」が最も多く、「料金が高い(18.7%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
料金が高い	93	18.7%
出発地から目的地までの所要時間が長くなる	17	3.4%
フェリーの待ち時間が長い	23	4.6%
運航本数が少ない	21	4.2%
フェリーの時間に合わせて行動するのが面倒	25	5.0%
運航時刻(時刻表)など運航情報が分かりにくい	27	5.4%
フェリー乗り場が遠い	6	1.2%
他の公共交通機関との接続が悪い	31	6.2%
目的地の近くまで行けない	30	6.0%
バリアフリーに対応できていない	21	4.2%
自家用車などの方が便利	69	13.9%
不便・不満に感じることはない	105	21.1%
その他	10	2.0%
未回答	20	4.0%

タクシーの利用について

(11) タクシーの利用頻度

タクシーの利用頻度は、「ほとんどあるいは全く利用しない(82.2%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
日常的に利用する	0	0.0%
ときどき利用する	46	12.2%
車やきんぎょタクシーなどの利用ができないときに利用する	17	4.5%
ほとんどあるいは全く利用しない	310	82.2%
その他	0	0.0%
未回答	4	1.1%

(12) タクシーの主な利用目的

タクシーの主な利用目的は、回答者では「通院」、「趣味・娯楽」、「買い物・飲食」の順で多くなっています。

設問	件数	割合
買い物・飲食	23	8.6%
通院	31	11.5%
趣味・娯楽	24	8.9%
業務・仕事関係	4	1.5%
その他	6	2.2%
未回答	181	67.3%

(13) タクシーを利用して不便・不満に思うこと

タクシーを利用して不便・不満に思うことは、「自家用車の方が便利(45.3%)」が最も多く、「料金が高い(21.7%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
料金が高い	115	21.7%
タクシーを呼んだり、目的地を説明するのが面倒	36	6.8%
乗車前に値段がわからない	60	11.3%
きんぎょタクシーを利用している	9	1.7%
自家用車の方が便利	240	45.3%
不便・不満に感じることはない	55	10.4%
その他	3	0.6%
未回答	12	2.3%

きんぎょタクシーの利用について

(14) きんぎょタクシーの利用頻度

きんぎょタクシーの利用頻度は、「ほとんどあるいは全く利用しない」が約90%となっています。

設問	件数	割合
日常的に利用する	2	0.5%
ときどき利用する	11	2.9%
自家用車などで送迎してもらえないときに利用する	17	4.5%
ほとんどあるいは全く利用しない	339	89.7%
その他	1	0.3%
未回答	8	2.1%

(15) きんぎょタクシーの主な利用目的

きんぎょタクシーの主な利用目的は、回答者では「通院(11.4%)」が最も多くなっています。未回答の81.5%は、自動車を保有しているなどの理由により、きんぎょタクシーを利用していない人が多くを占めていると考えられます。

設問	件数	割合
通勤	0	0.0%
通学	0	0.0%
買い物・飲食	5	2.0%
通院	29	11.4%
趣味・娯楽	4	1.6%
その他	9	3.5%
未回答	207	81.5%

(16) きんぎょタクシーを利用して不便・不満に思うこと

きんぎょタクシーを利用して不便・不満に思うことは、「自家用車の方が便利(40.9%)」が最も多くなっています。その他の項目では、「利用方法がよく分からない(14.6%)」、「目的地の近くまで行けない(運行場所が限定されている)(9.5%)」、「事前登録やオペレーターへ予約するのが面倒(9.1%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
料金が安い	15	2.8%
事前登録やオペレーターへ予約するのが面倒	49	9.1%
所要時間が長くなる	28	5.2%
他の公共交通機関との接続が悪い	11	2.1%
目的地の近くまで行けない(運行場所が限定されている)	51	9.5%
知らない人が同乗するのに抵抗がある	27	5.0%
利用方法がよく分からない	78	14.6%
自家用車の方が便利	219	40.9%
不便・不満に感じることはない	31	5.8%
その他	3	0.6%
未回答	24	4.5%

(17) きんぎょタクシーの利用促進策として効果的だと思うもの

きんぎょタクシーの利用促進策として効果的だと思うものは、「町外での乗降場所の追加(26.7%)」が最も多く、「運行曜日や運行時間帯の拡充(23.7%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
店舗などと連携した利用促進キャンペーンなどの実施	63	10.9%
運行曜日や運行時間帯の拡充	137	23.7%
スマートフォンによる予約などのデジタル化	91	15.8%
町外での乗降場所の追加	154	26.7%
特にない	95	16.5%
その他	3	0.5%
未回答	34	5.9%

外出時のことについて

(18) 買い物(食料品・日用品など)の頻度

買い物(食料品・日用品など)の頻度は、「週1~2日(38.7%)」が最も多く、「週3~4日(29.5%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
毎日	31	8.2%
週5~6日	26	6.8%
週3~4日	112	29.5%
週1~2日	147	38.7%
月2~3日	18	4.7%
月1日以下	8	2.1%
買い物目的で外出しない	24	6.3%
未回答	14	3.7%

(19) 買い物(食料品・日用品など)をするときの主な目的地

買い物(食料品・日用品など)をするときの主な目的地は、「長洲町内(51.2%)」、「荒尾市(25.9%)」、「玉名市(10.2%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
長洲町内	186	51.2%
荒尾市	94	25.9%
玉名市	37	10.2%
大牟田市	23	6.3%
上記以外の県内市町村	4	1.1%
県外	2	0.6%
未回答	17	4.7%

(20) 買い物(食料品・日用品など)をするときの主な交通手段

買い物(食料品・日用品など)をするときの主な交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が82.5%となっています。

設問	件数	割合
徒歩	7	1.9%
自転車	13	3.6%
バイク	1	0.3%
路線バス	0	0.0%
きんぎょタクシー	3	0.8%
民間タクシー	0	0.0%
鉄道	1	0.3%
自家用車(自分で運転)	297	82.5%
自家用車(家族等による送迎)	27	7.5%
その他	0	0.0%
未回答	11	3.1%

(21) 通勤・通学のときの行先

通勤・通学のときの行先は、回答者では「県内(35.4%)」、「長洲町内(25.7%)」、「県外(8.6%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
長洲町内	66	25.7%
県内	91	35.4%
県外	22	8.6%
未回答	78	30.4%

(22) 通勤・通学のときの主な交通手段

通勤・通学のときの主な交通手段は、回答者では「自家用車(自分で運転)(61.4%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
徒歩	7	2.7%
自転車	12	4.5%
バイク	2	0.8%
路線バス	0	0.0%
きんぎょタクシー	1	0.4%
民間タクシー	0	0.0%
鉄道	5	1.9%
自家用車(自分で運転)	162	61.4%
自家用車(家族等による送迎)	11	4.2%
その他	4	1.5%
未回答	60	22.7%

(23) 買い物、通勤・通学以外の外出の頻度

買い物、通勤・通学以外の外出の頻度は、「週1~2日(36.5%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
毎日	24	6.3%
週5~6日	13	3.4%
週3~4日	55	14.4%
週1~2日	139	36.5%
月2~3日	70	18.4%
月1日以下	31	8.1%
外出しない	25	6.6%
未回答	24	6.3%

(24) 買い物、通勤・通学以外の主な外出先

買い物、通勤・通学以外の主な外出先は、「飲食店(21.3%)」、「通院(16.8%)」、「行楽地・観光地(15.6%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
飲食店	71	21.3%
親戚・友人宅	28	8.4%
行楽地・観光地	52	15.6%
通院	56	16.8%
スポーツ施設	21	6.3%
役場	1	0.3%
公民館・集会所	15	4.5%
デイサービス	4	1.2%
銀行・郵便局等	35	10.5%
その他	11	3.3%
未回答	39	11.7%

(25) 買い物、通勤・通学以外の外出のときの主な交通手段

買い物、通勤・通学以外の外出のときの主な交通手段は、「自家用車(自分で運転)(74.9%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
徒歩	10	2.8%
自転車	14	3.9%
バイク	0	0.0%
路線バス	0	0.0%
きんぎょタクシー	3	0.8%
民間タクシー	0	0.0%
鉄道	1	0.3%
自家用車(自分で運転)	268	74.9%
自家用車(家族等による送迎)	33	9.2%
その他	4	1.1%
未回答	25	7.0%

今後の公共交通について

(26) 公共交通を維持するためには、多くの方に公共交通を利用していただく必要があるが、公共交通の利用についてどのように思うか

公共交通の利用の意向については、「利便性が良くなれば、利用したいと思う(29.0%)」が最も多く、「今は公共交通を利用していないが、将来は利用したいと思う(25.3%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
現在も公共交通を利用している	27	7.3%
利便性が良くなれば、利用したいと思う	108	29.0%
料金が安くなれば、利用したいと思う	32	8.6%
今は公共交通を利用していないが、将来は利用したいと思う	94	25.3%
今後、可能な範囲で公共交通を利用したいと思う	44	11.8%
今後も公共交通は利用しないと思う	21	5.6%
わからない	39	10.5%
その他	0	0.0%
未回答	7	1.9%

(27) 「長洲町の公共交通」に対する考え方

長洲町の公共交通に対する考え方は、「町民がアイデアを出し合うなど、地域の公共交通の充実や利用促進に、地域のみんながもっと積極的に関わるべき(20.4%)」、「これからは公的負担を増やしても、地域の公共交通をもっと充実すべき(17.6%)」、「町民一人ひとりが、使える時には公共交通をもっと利用するように心がけるべき(16.8%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
町民一人ひとりが、使える時には公共交通をもっと利用するよう心がけるべき	84	16.8%
町民がアイデアを出し合うなど、地域の公共交通の充実や利用促進に、地域のみんながもっと積極的に関わるべき	102	20.4%
これからは、住んでいる地域の公共交通は、町民で支えることも考えるべき	45	9.0%
これからは公的負担を増やしても、地域の公共交通をもっと充実すべき	88	17.6%
地域の公共交通への公的負担は現状のままで、現在の同様の公共サービスを維持していくべき	57	11.4%
地域の公共交通に公的負担を使うのはできるだけ抑え、必要最小限にとどめるべき	12	2.4%
地域にとって公共交通が大切かどうか、考えたことはなかったのでわからない	79	15.8%
未回答	32	6.4%

3-1-2. きんぎょタクシーに関するアンケート調査

■調査対象 きんぎょタクシー利用者 200人（無作為抽出）

■回収状況 回収数127人 有効回収率63.5%

■回答期間 令和5年7月26日（水）～令和5年8月14日（月）

■調査項目

- 1.自身のことについて
- 2.利用料金について
- 3.移動範囲について
- 4.運行日数、運行本数について
- 5.運転手の対応について
- 6.予約センターの電話対応について
- 7.予約方法について
- 8.今後のきんぎょタクシー利用の意向
- 9.きんぎょタクシーに関する意見等

■調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

自身のことについて

(1) 校区

居住している校区は、回答者では「六栄小校区 (29.9%)」、「長洲小校区 (16.5%)」、「腹赤小校区 (12.6%)」、「清里小 (5.5%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
腹赤小校区	16	12.6%
六栄小校区	38	29.9%
清里小校区	7	5.5%
長洲小校区	21	16.5%
未回答	45	35.4%

(2) 年齢

年齢は70歳以上が約84%を占めています。

設問	件数	割合
10歳代	0件	0.0%
20歳代	0件	0.0%
30歳代	2件	1.6%
40歳代	3件	2.4%
50歳代	2件	1.6%
60歳代	10件	7.9%
70歳代	29件	22.8%
80歳以上	78件	61.4%
未回答	3件	2.4%

(3) きんぎょタクシーの利用頻度

きんぎょタクシーの利用頻度は、「時々使う (月に1~2回程度) (54.3%)」が最も多く、「ほぼ毎週使う (週に1~2回程度) (29.1%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
ほぼ毎日使う	7件	5.5%
ほぼ毎週使う (週に1~2回程度)	37件	29.1%
時々使う (月に1~2回程度)	69件	54.3%
年に数回	8件	6.3%
未回答	6件	4.7%

(4) きんぎょタクシーの利用目的

きんぎょタクシーの利用目的は、「通院 (46.6%)」が最も多く、「買い物 (41.6%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
通勤	2件	0.9%
通学	2件	0.9%
通院	102件	46.6%
旅行やおでかけ	8件	3.7%
買い物	91件	41.6%
その他	14件	6.4%
未回答	2件	0.9%

(5) 主な行き先

きんぎょタクシーでの主な行き先は、「長洲町内 (55.9%)」、「荒尾市 (39.4%)」、「玉名市 (4.7%)」の順に多くなっています。

設問	件数	割合
長洲町内	71件	55.9%
荒尾市	50件	39.4%
玉名市	6件	4.7%
未回答	0件	0.0%

(6) 最終的な目的地

最終的な目的地は、「荒尾市民病院 (現在は荒尾市立有明医療センター) (35.6%)」が最も多く、「シティモール (ゆめタウンシティモール) (28.9%)」が2番目に多くなっています。

設問	件数	割合
シティモール	26件	28.9%
荒尾市民病院	32件	35.6%
佐藤眼科	8件	8.9%
玉名駅	3件	3.3%
西山クリニック	3件	3.3%
その他	18件	20.0%

(7) きんぎょタクシーを利用して良かったと思うこと

きんぎょタクシーを利用して良かったと思うことは、「自宅前から乗れて、長い距離を歩かなくてよかった (81.1%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
自宅前から乗れて、長い距離を歩かなくてよかった	103件	81.1%
早く目的地へ行けるようになった	38件	29.9%
家族や友人などに送迎を頼まなくてよかった	61件	48.0%
外出する頻度が増えた	26件	20.5%
特になし	3件	2.4%
その他	14件	11.0%
未回答	1件	0.8%

利用料金について

(8) 現在の町内(片道)200円、町内ー荒尾市・玉名市の特定施設間(片道)400円の利用料金をどのように思うか

現在のきんぎょタクシーの利用料金については、「ちょうど良い(78.7%)」が最も多くなっています。

設問	件数	割合
高い	13件	10.2%
ちょうど良い	100件	78.7%
安い	7件	5.5%
未回答	7件	5.5%

移動範囲について

(9) 現在、町外へは荒尾市の4か所(荒尾警察署周辺、荒尾市立有明医療センター、ゆめタウンシティモール、荒尾支援学校)と、玉名市の1か所(玉名駅)に行くことができるが、どのように思うか

現在のきんぎょタクシーの移動範囲については、「困っていない」が48.0%で、「困っている」が25.2%となっています。

設問	件数	割合
困っている	32件	25.2%
困っていない	61件	48.0%
わからない	15件	11.8%
未回答	19件	15.0%

運行日数、運行本数について

(10) 現在、平日の午前8時便から午後4時便までの9便(玉名便は午前8時、午前10時、午後1時、午後3時の4便)運行を行っているが、どのように思うか

現在のきんぎょタクシーの運行日数、運行本数については、「困っていない」が52.0%、「困っている」が18.9%となっています。

設問	件数	割合
困っている	24件	18.9%
困っていない	66件	52.0%
わからない	21件	16.5%
未回答	16件	12.6%

運転手の対応について

(11) 運転手の対応についてどのように思うか

きんぎょタクシーの運転手の対応については、「満足している」、「どちらかといえば満足している」のいずれかが約86%となっています。

設問	件数	割合
満足している	64件	50.4%
どちらかといえば満足している	45件	35.4%
どちらかといえば満足できない	8件	6.3%
満足できない	2件	1.6%
未回答	8件	6.3%

予約センターの電話対応について

(12) 予約センターの電話対応についてどのように思うか

きんぎょタクシー予約センターの電話対応については、「満足している」、「どちらかといえば満足している」のいずれかが約93%となっています。

設問	件数	割合
満足している	96件	75.6%
どちらかといえば満足している	22件	17.3%
どちらかといえば満足できない	3件	2.4%
満足できない	1件	0.8%
未回答	5件	3.9%

予約方法について

(13) 現在は、予約方法が電話のみとなっているが、今後インターネットによるウェブ予約がパソコンやスマートフォンなどからできるようになった場合、利用するか

ウェブ予約ができるようになった場合の利用については、「わからない」が40.2%、「利用しない」が30.7%、「利用する」が19.7%となっています。

設問	件数	割合
利用する	25件	19.7%
利用しない	39件	30.7%
わからない	51件	40.2%
未回答	12件	9.4%

今後のきんぎょタクシー利用の意向

(14) 今後もきんぎょタクシーを利用したいと思うか

今後のきんぎょタクシーの利用意向については、「利用する」が93.7%となっています。

設問	件数	割合
利用する	119件	93.7%
利用しない	1件	0.8%
わからない	2件	1.6%
未回答	5件	3.9%

3-1-3. 民生委員・児童委員へのアンケート調査

■調査対象 町内の全民生委員・児童委員 30 人

■回収状況 回収数 16 人 有効回収率 53.3%

■回答期間 令和 5 年 7 月 11 日（火）～令和 5 年 7 月 31 日（月）

■調査項目

- 1.公共交通の相談について
- 2.受けた相談の内容
- 3.移動困難者にとっての課題
- 4.町内の公共交通に関する意見等

※内容については、複数記載のあったものを掲載しています。

公共交通の相談について

(1) 民生委員・児童委員を担当する区内に居住する方から、公共交通に関する相談を受けたことがあるか

公共交通に関する相談を受けたことがあるかについては、「ある」が68.8%、「ない」が31.3%となっています。

設問	件数	割合
ある	11	68.8%
ない	5	31.3%
未回答	0	0.0%

受けた相談の内容

(2) 受けた相談の内容はどのようなものであったか

【自由記述】

- ・ きんぎょタクシーや介護タクシーに玄関前まで送迎に来てほしい（家の前の道路が狭い等の理由のため）
- ・ 公共交通機関の待ち時間が長い
- ・ 玉名市のくまもと県北病院などの医療機関まで直行で行きたい

移動困難者にとっての課題

(3) 町内の移動困難者（高齢者や障がい者等）にとって、公共交通の課題は何だと思えるか

【自由記述】

- ・ 軽自動車や小型タイプの車両で、狭い道等への送迎の対応が必要
- ・ 待ち時間が長い、利用者に時間を合わせられない
- ・ 巡回バスを走らせてほしい
- ・ 町外へは行ける場所が限られている

町内の公共交通に関する意見等

(4) 町内の公共交通について思うこと

【自由記述】

- ・ くまもと県北病院への直行便があれば良い
- ・ JRの本数増加が必要である
- ・ 駅へのエスカレーターやエレベーターの設置が必要である
- ・ 高齢者には、JRの階段の乗降は厳しい
- ・ 公共交通が充実すれば、高齢者の免許返納がしやすくなる
- ・ 公共交通と民間企業との関連も考慮しなければならないと思う
- ・ きんぎょタクシーの利用の仕方をもっとPRしてはどうか

3-1-4. 交通事業者へのアンケート調査

■調査対象 町内の公共交通運行事業者 5社

■回収状況 回収数3社 有効回収率60.0%

■回答期間 令和5年8月10日(木)～令和5年8月25日(木)

■調査項目

- 1.事業者から見た利用客の動向
- 2.各事業者の現状とこれからの課題
- 3.公共交通の利用促進についての意見

各事業者から見た長洲町内の利用客の動向、各事業者の現状とこれからの課題、公共交通の利用促進についての意見について（抜粋・要約しています）

【自由記述】

《鉄道事業者》

- ・2022年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではあったが、平均通過人員・駅別乗車人員ともに、回復の兆しである。
- ・各種コスト増や物価高騰による個人消費の動向など引き続き留意すべき要因である。
- ・人口減少や少子高齢化など長期的な課題への対応とあわせて、今後もDX推進や技術革新などのコスト削減策と更なる利用者増の取り組みが必要。
- ・長洲駅については、通学、通学定期利用者の動向の把握、また定期外の利用者増に向けた取り組みなどが必要。
- ・今後もお客様の利用実態にあわせた列車ダイヤ設定や、JR九州ウォーキングなど各種イベント等を通じた利用促進及び地域を元気にする取り組みなどを実施していきたい。

《フェリー事業者》

- ・長洲港から多比良港への航路利用の理由については、観光が最も多く平日は約3割5分（休日は約5割）。次いでビジネスが約2割5分。その他では親戚・知人宅への訪問や冠婚葬祭などである。
- ・現在、コロナ禍からの輸送回復が感じられるが、完全には戻っておらず、コロナ禍前と比べ約8割の回復に留まっており、今後も更に回復できるのかは不透明な状況にある。
- ・コロナ影響による輸送台数・旅客減少に伴う収入減と、燃料費等の高騰による費用増のため、令和5年度から運賃改定を実施している。
- ・現在、社会的な人件費、燃料費の上昇傾向などを考慮すると、輸送台数・旅客を増加させて収入増を図ることが今後の課題と考えている。

《タクシー事業者》

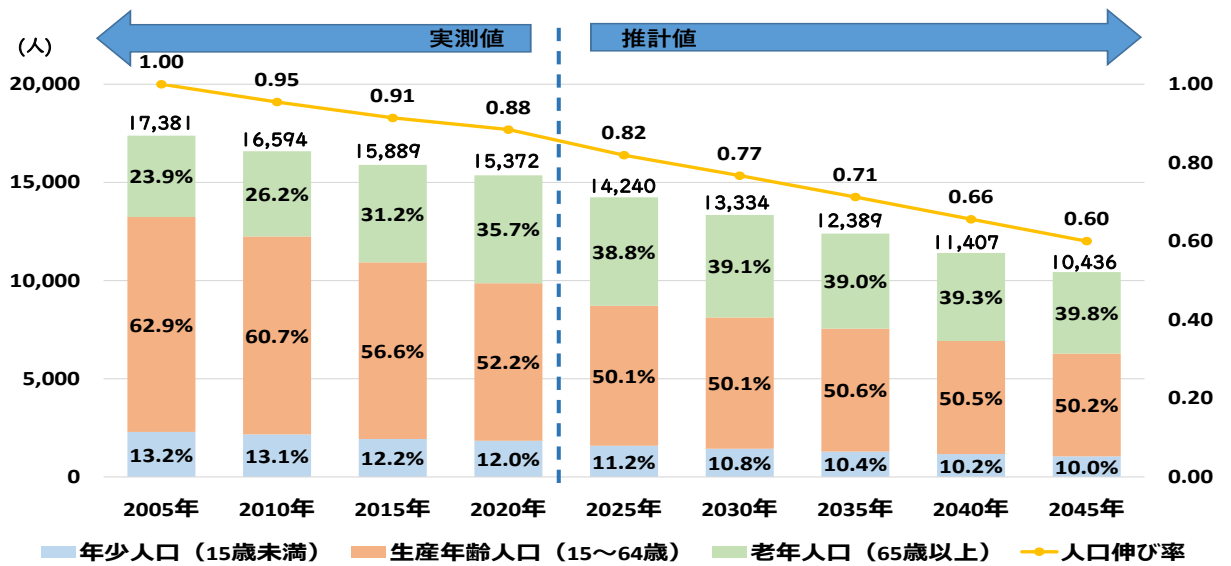
- ・顧客動向としては、5~6割がビジネスマン、長洲町内のお客様が3割、長洲港から長洲駅等の二次交通や三次交通としての役割が2割である。
- ・賃金値上げ、燃料高騰・物価高騰、タクシーの運賃改定等からも委託料等の見直しが必要である。
- ・人員不足がコロナ前からの課題であり、昨今ではますます拍車がかかっている状況。
- ・CO2削減と通勤時間帯の渋滞の緩和を目的としたタクシーを用いた出退勤専用乗合タクシーを考えている。
- ・長洲港から長洲駅の乗合タクシーの時間拡大、ミニボートピアの無料タクシーの路線復活、お祭り等でのシャトルタクシーもしくはタクシー乗降場の設置依頼を検討している。

3-2. 長洲町の地域公共交通の抱える課題

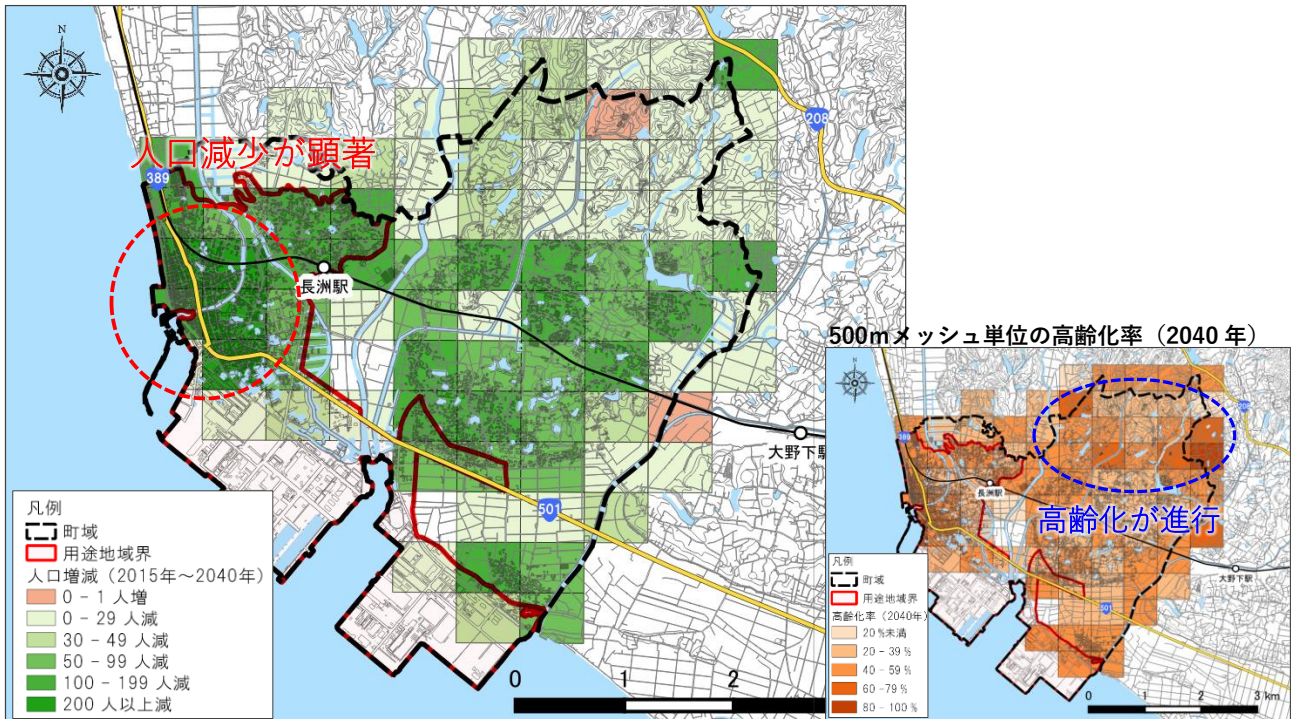
【公共交通需要の変化への対応と持続可能な交通体系の構築】

- 人口減少・少子化の進行によって、総体的に交通需要が減少します。
- 高齢社会の到来により、後期高齢者等の移動サービスの質的支援が重要となります。
- 単身世帯（ひとり暮らし高齢者）の増加により、サービス情報収集におけるきめ細やかな対応が求められます。

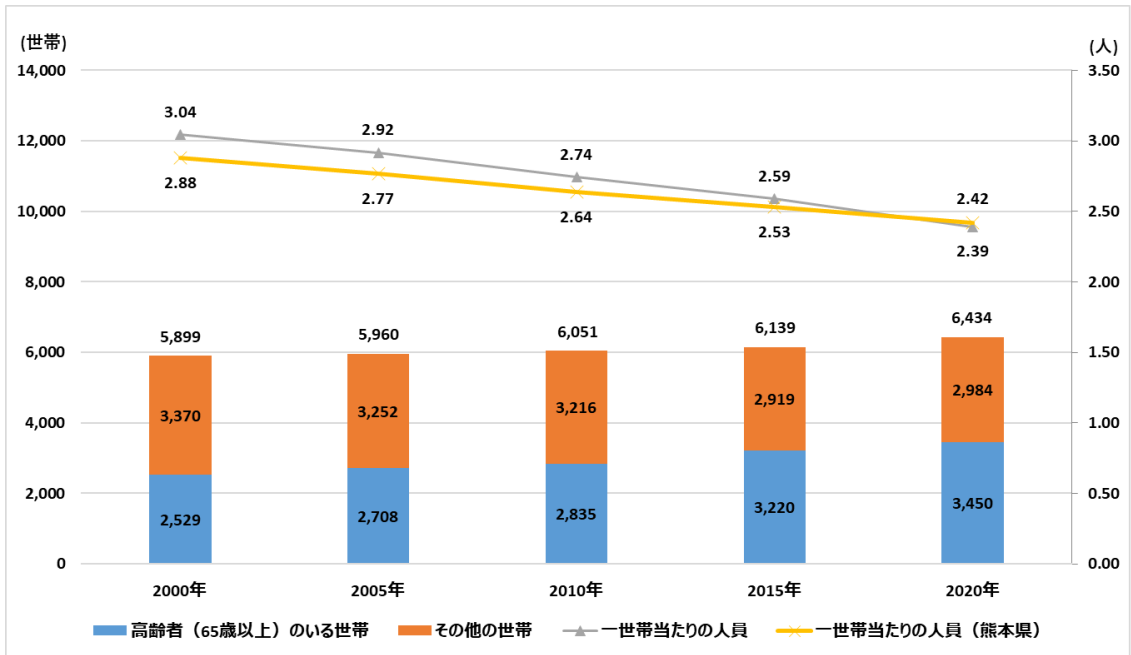
【長洲町の将来人口】



長洲町 人口増減 (2015~2040年)

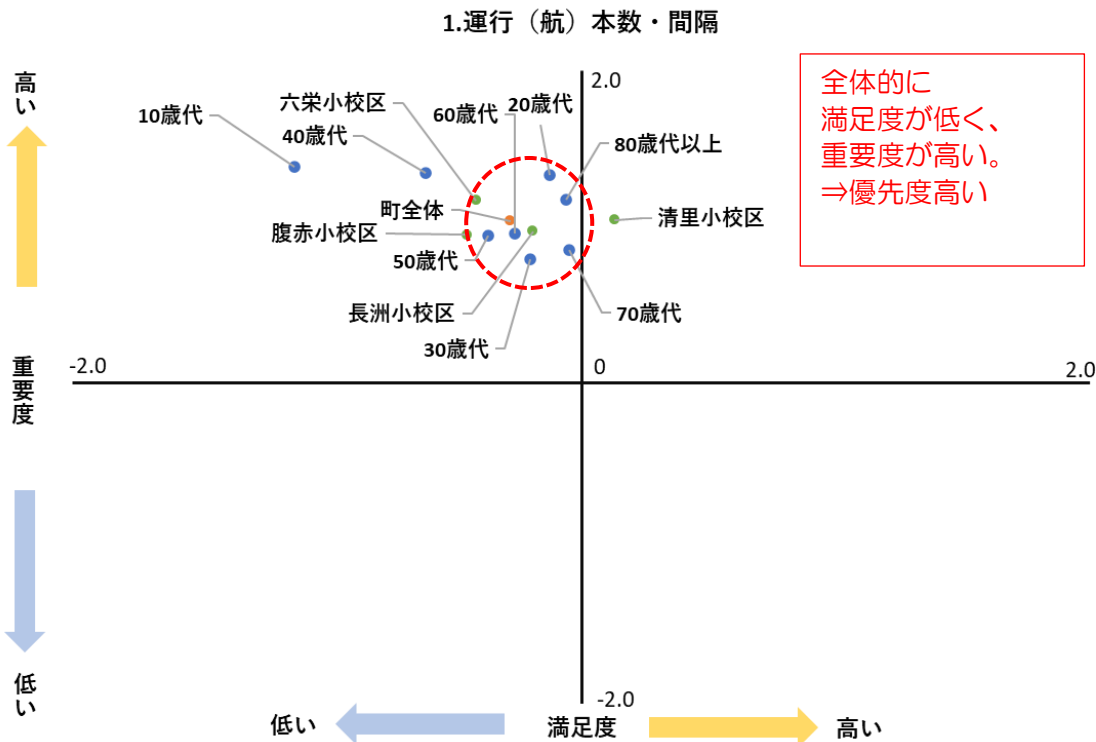


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

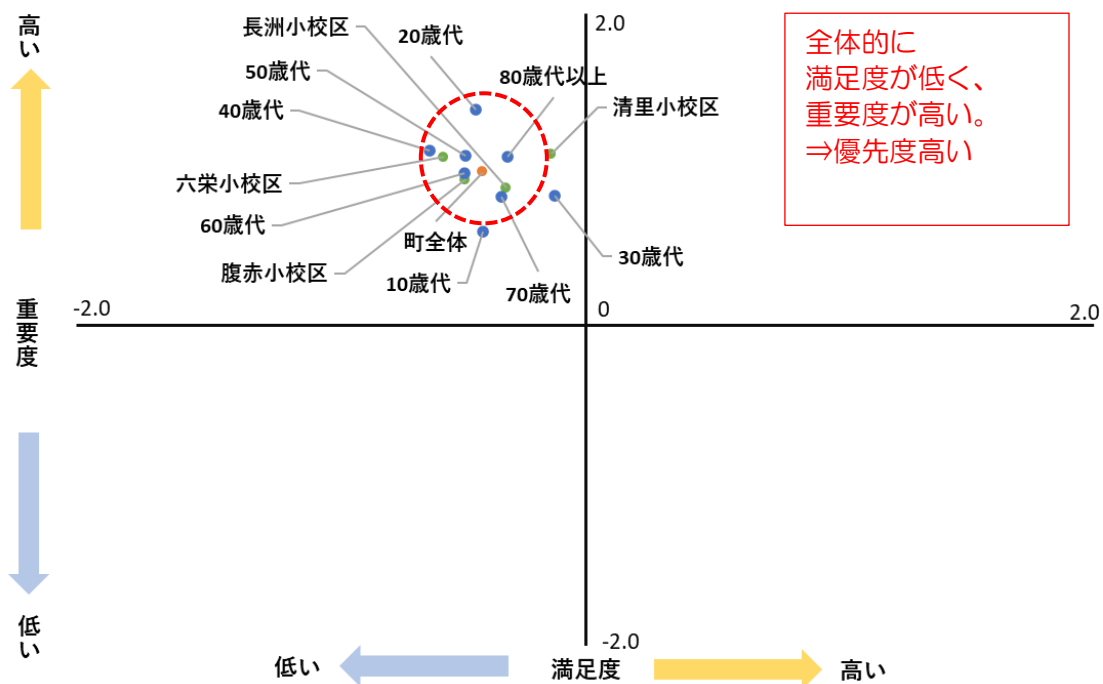


	総世帯人員	高齢夫婦のみ世帯	高齢単身世帯
人数	15,127	2,176	816
構成率(%)		14.4	5.4

【長洲町内の公共交通サービスの満足度・重要度（町民アンケートより）】



8.交通機関同士の乗り換え・乗り継ぎ



長洲町内の今後の公共交通について（町民アンケート）

設問	件数	割合
現在も公共交通を利用している	27	7.3%
利便性が良くなれば、利用したいと思う	108	29.0%
料金が安くなれば、利用したいと思う	32	8.6%
今は公共交通を利用していないが、将来は利用したいと思う	94	25.3%
今後、可能な範囲で公共交通を利用したいと思う	44	11.8%
今後も公共交通は利用しないと思う	21	5.6%
わからない	39	10.5%
その他	0	0.0%
未回答	7	1.9%

【安全・安心の確保と利便性の高い公共交通の構築、交通事業者の持続的なサービス提供環境の確保】

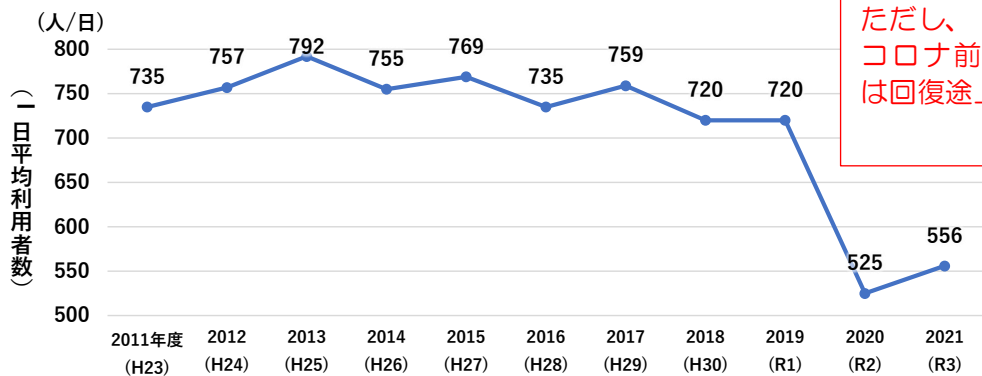
- 移動における自家用車の依存が高く 70%以上となっています。
- 運転免許返納者への対応、特に、高齢者の移動手段の確保が必要となります。
- 公共交通の利用者がコロナ感染拡大前の水準に回復途上の段階にあります。
- 運転手不足による円滑な事業継続、サービスを維持していくための対応が必要です。

長洲町・熊本県の交通分担率の状況



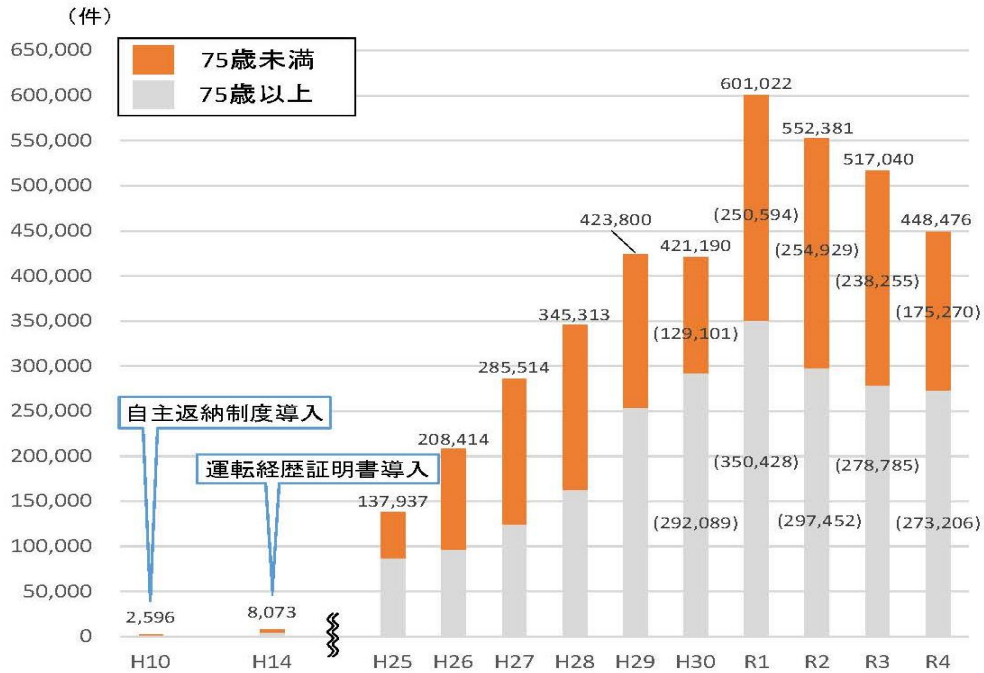
出典：国勢調査

JR 長洲駅における一日の平均乗員数の推移



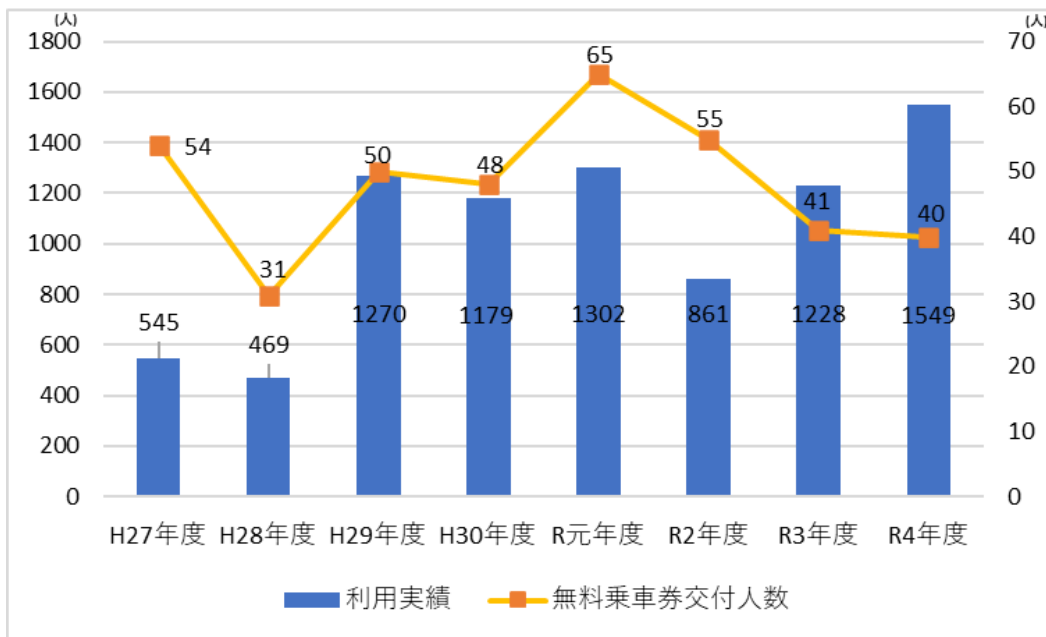
出典：長洲町、JR九州のホームページ

【全国の運転免許取消件数（自主返納）件数】



出典：警察庁「運転免許統計」

【長洲町の免許返納者のきんぎょタクシー利用実績及び免許返納へのきんぎょタクシー無料乗車券交付人数】

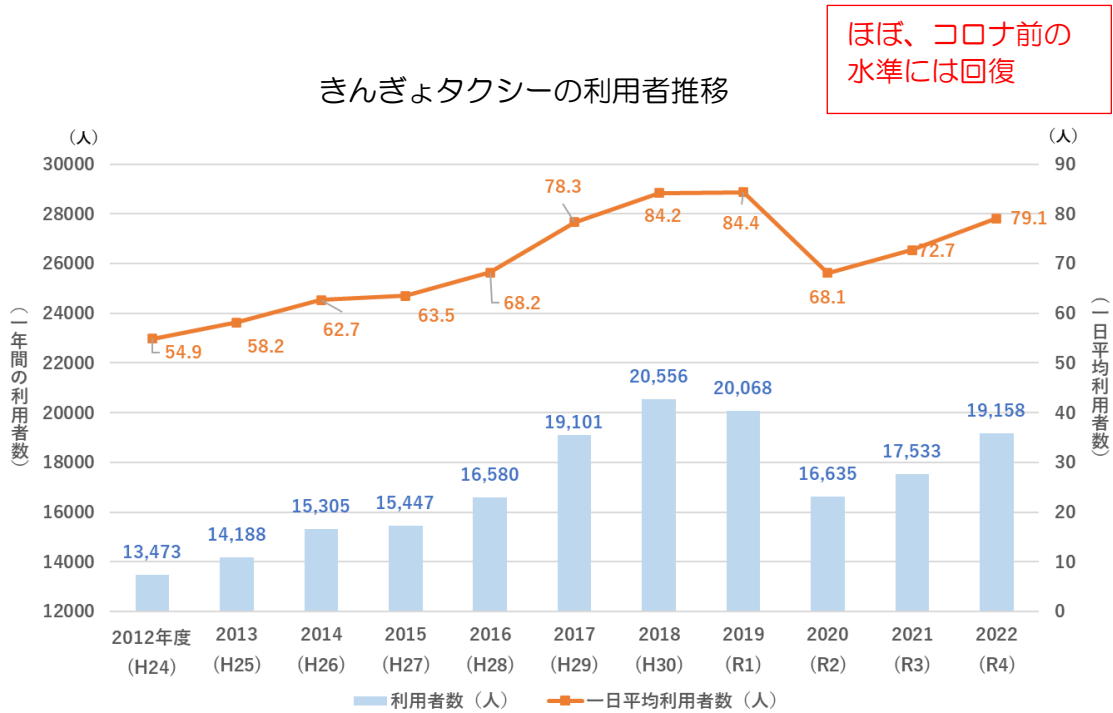


タクシーの利用促進策（町民アンケート結果）

設問	件数	割合
店舗などと連携した利用促進キャンペーンなどの実施	76	16.1%
免許返納等に係る料金割引	195	41.3%
最新車両などの導入	24	5.1%
車両情報などのデジタル化	33	7.0%
特にない	113	23.9%
その他	5	1.1%
未回答	26	5.5%

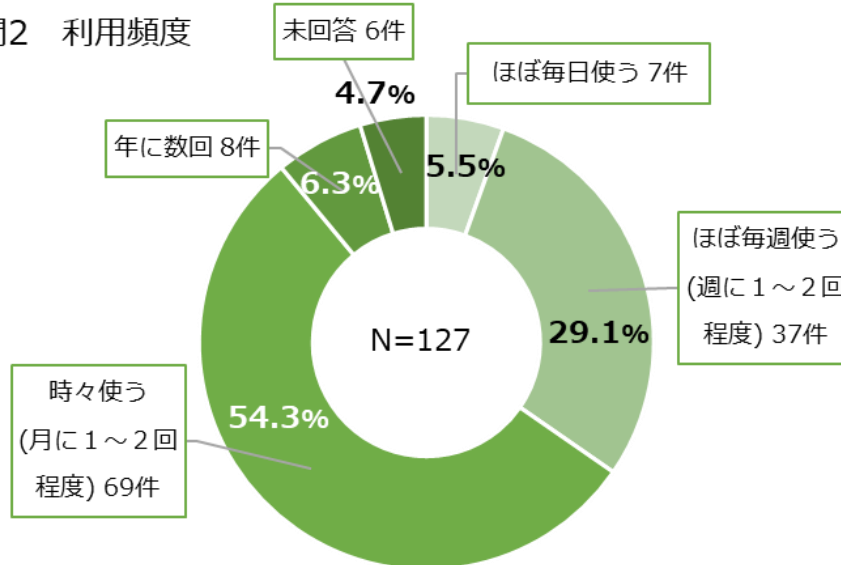
【公共交通の一層の利用増進・サービス向上】

- 高齢者の移動手段として定着しつつあるきんぎょタクシーの一層の利用増進・サービス向上が重要となります。
- 町民の主要な公共交通である鉄道（JR）の利便性の向上と駅及び周辺の快適空間づくりが求められています。



きんぎょタクシーの利用頻度（利用者アンケート）

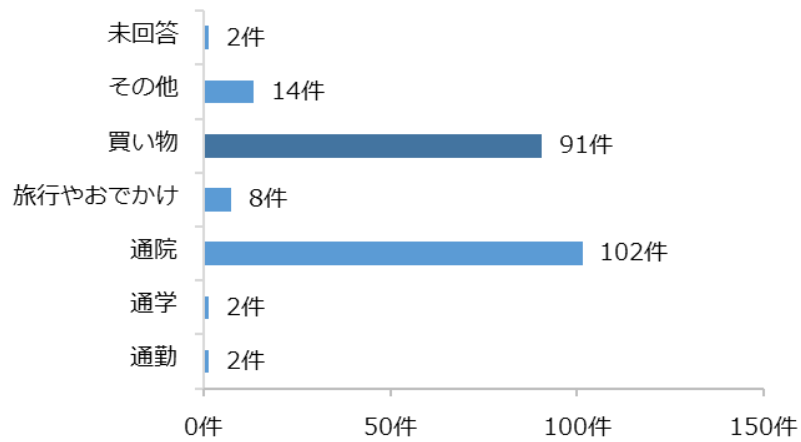
問2 利用頻度



きんぎょタクシーの利用目的（利用者アンケート）

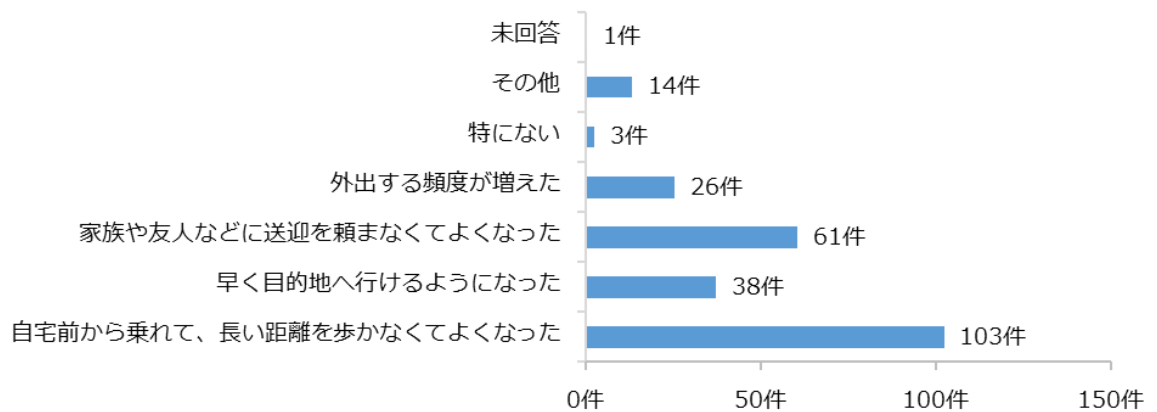
問3 利用目的

複数回答 MA=219



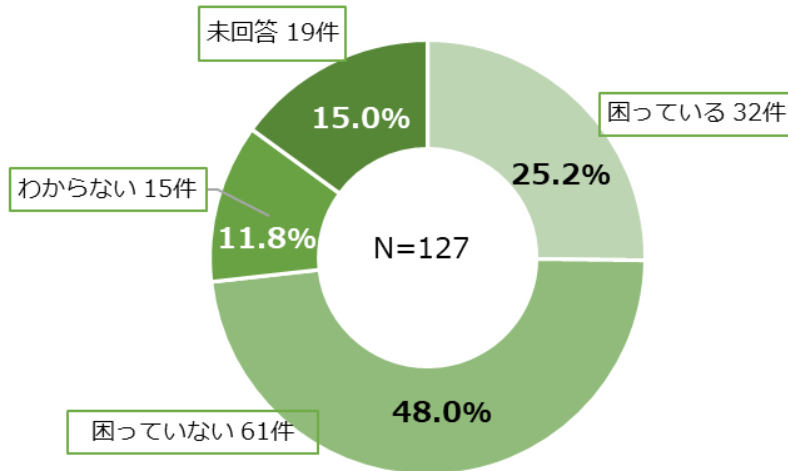
きんぎょタクシーの利用して良かったこと（利用者アンケート）

問5 利用して良かったと思うところ

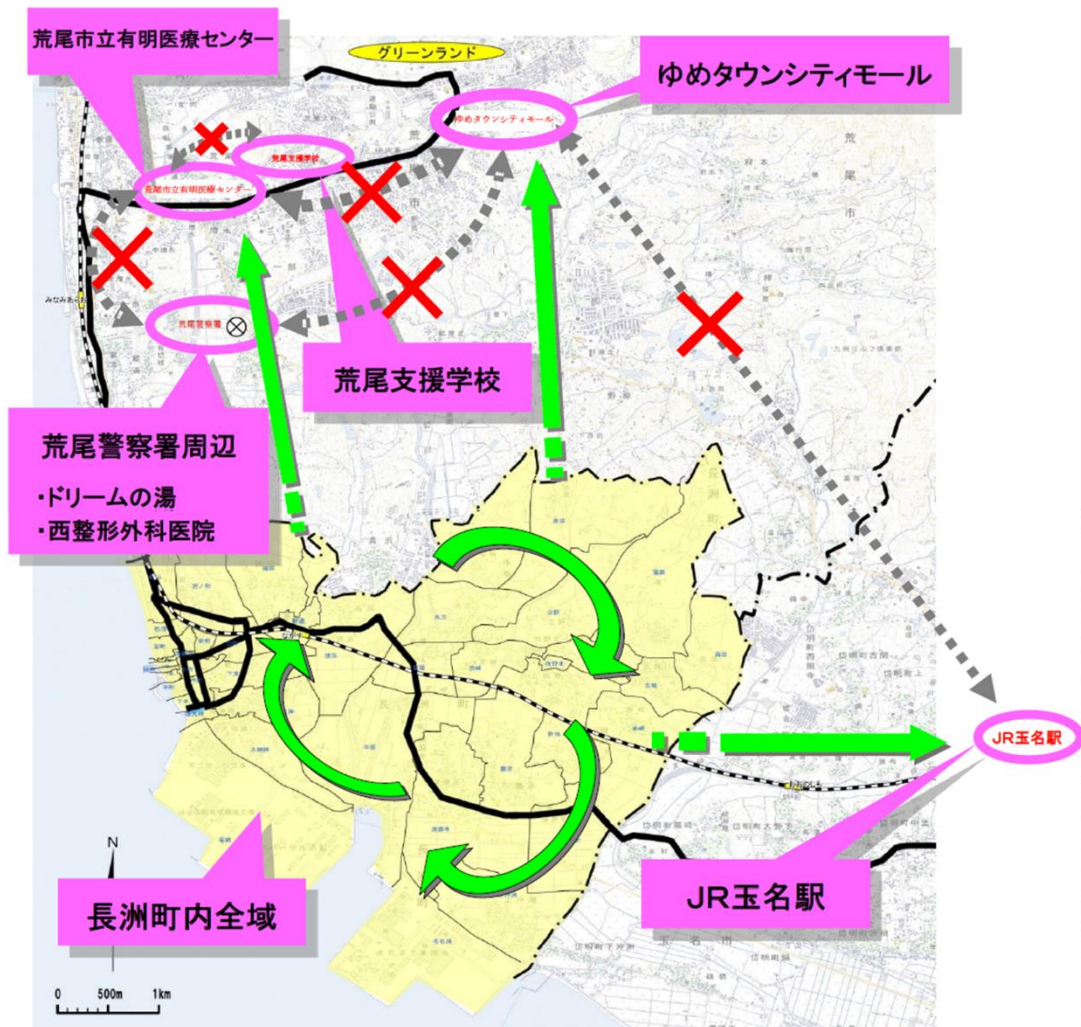


きんぎょタクシーの移動できる範囲について（利用者アンケート）

問7 移動できる範囲について



きんぎょタクシーの運行ルート



【だれもが利用しやすい公共交通サービスの提供】

- 人口減少に対応するため、移住・定住の取組みや観光交流の拡大に取り組んでいます。
- 外国人労働者の増加に伴う、多様な人材が活躍するまちづくりを進めています。
- 新たな地域高規格道路（有明海沿岸道路）や長洲港の利用促進によって交流の拡大が期待されます。
- コロナ感染症の拡大によって縮小した移動・外出の行動様式を踏まえ、ポストコロナの働き方・移動の変化への対応が求められます。

長洲町移住定住パンフレット

小さな町の中に暮らしに必要なものがぎゅっとまとまっています！

長洲町は小さい町の中にも、暮らしに必要なものが、ぎゅっと詰まっている暮らしやすい町です。

お買い物

町内には、スーパー店、コンビニエンスストア5店、ホームセンター、ドラッグストアに加え、地元産産物多数点在し、日々の買い物に不便ありません。また、近隣の京尾町の商業施設へは車で約15分、大牟田市の大型ショッピングモールへは約30分で行くことができます。



心の医療環境

町内には、内科、外科、歯科の病院があります。また、近隣市には総合病院もあるため、安心して生活できます。

ながす未来館

文化ホール、図書館、メディアルームなど、あらゆる交流の場利用できる施設です。コンサートやイベントの会場にもなります。



便利な乗合タクシー

町内には、予約型乗合タクシー（きんぎょタクシー）が運行しています。町内全域に加え、京尾町の特定乗換施設（総合病院・商業施設など）への移動に利用できます。さらに高齢者や車を持たない人の交通手段として欠かせないものになっています。



JRの駅

町内には JR 長洲駅があり、熊本市内はもちろん、福岡県内への通勤も可能です。



長洲港

長洲港と多比良港（長崎県雲仙市）を結ぶフェリーが就航しており、45分で海を渡れます。



美しい夕日

有明海の夕日は、町のみならずの自慢の風景のひとつです。夕日の絶景ポイントが町内に点在しています。



夫実の住まい環境

子育て世代におすすめ！長洲町地域優良賃貸住宅「レインボーみやの」が完成し、長洲駅前には、定住促進に向けた宅地開発も進行中、子育て世代にも活用いただけます。



みんなの健康づくりに係るスポーツセンター

総合スポーツセンターでは、体育館や武道場、グラウンド、テニスコート、ジョギングコース、温水プールが併設され、水やヨガなどの海洋教室も行われています。湯治所と海の風景を楽しめる長洲町らしい場所のひとつでもあります。



イベントやお祭りもたくさん！

おはな祭(1/8)、おきなまつり(1/8)、おきなまつり(1/8)、おきなまつり(1/8)、おきなまつり(1/8)、おきなまつり(1/8)



みんなの健康づくりに係る金魚と鯉の郷土場・金魚の食育

「金魚と鯉の郷土場」には、鯉が泳ぐ池、遊具もある「はらっぱ広場」、サッカー大会やイベント・お祭りが開催される「多目的広場」、おいしいチャイが評判の「カフェ」があります。近隣市からも多くの家族連れが訪れます。また、金魚と鯉の郷「長洲町」を代表するシンボル施設「金魚の郷」には、金魚展示や金魚すくい体験コーナー、情報発信コーナー、キッズスペースを設け、四季折々の豊かな自然の魅力を感じながら一日ゆっくり過ごすことができます。



読書が楽しい図書館

ながす未来館に併設された、豊富な万冊の「長洲町図書館」、各種講座や絵本の読み聞かせなどのイベントも開催されています。毎週土曜日は、親子で参加できる「おはなまつり」も、図書館で楽しめます。



便利な図書館

ながす未来館に併設された、豊富な万冊の「長洲町図書館」、各種講座や絵本の読み聞かせなどのイベントも開催されています。毎週土曜日は、親子で参加できる「おはなまつり」も、図書館で楽しめます。



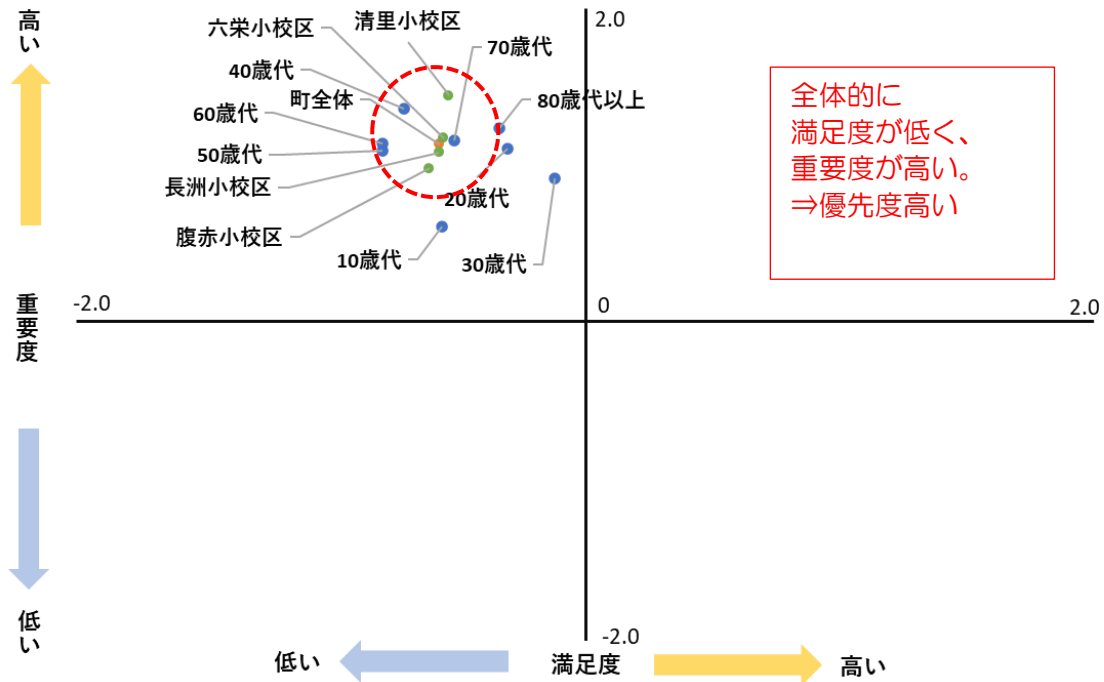
家族みんなにうれしい「ぎゅっと長洲」

家族みんなにうれしい「ぎゅっと長洲」



長洲町内の公共交通サービスの満足度・重要度（町民アンケート）

9.駅前広場の改良や駅舎のバリアフリー化などJRの利便性向上

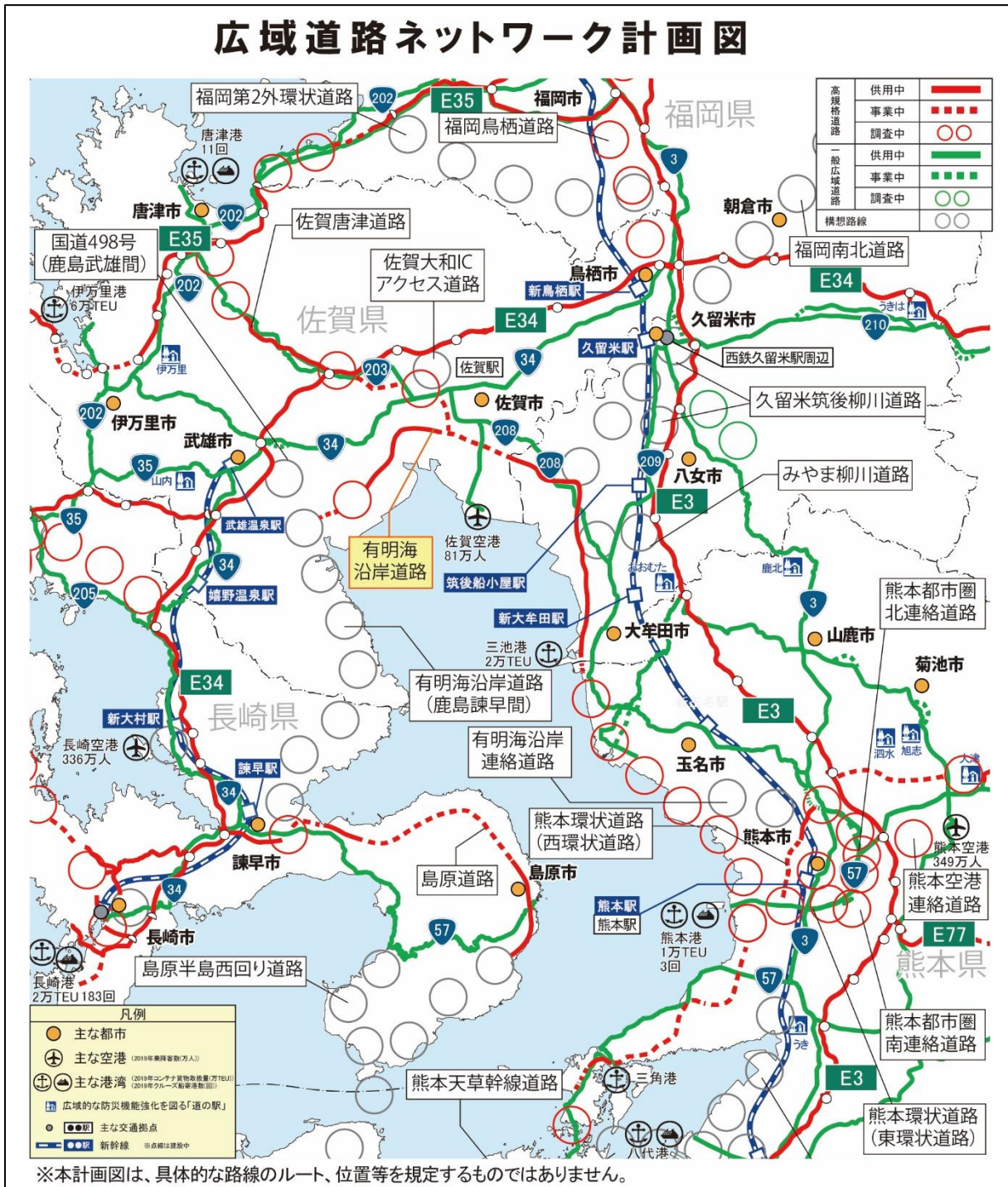


JR長洲駅の利用促進策（町民アンケート結果）

設問	件数	割合
分かりやすい運行時刻や運賃の案内	58	7.4%
待合環境の充実	62	7.9%
他の公共交通機関との交通アクセスの向上	112	14.3%
町内企業等と連携したノーマイカデーなどの実施	13	1.7%
免許返納等に係る運賃割引	78	10.0%
イベントの実施や企画乗車券の販売	25	3.2%
運行本数の増加	124	15.9%
バリアフリーなど駅舎の改修	136	17.4%
駅前の整備	57	7.3%
駅舎の複合施設化	39	5.0%
特にない	58	7.4%
その他	0	0.0%
未回答	19	2.4%

国道 208 号 有明海沿岸道路

広域道路ネットワーク計画図



出展：有明海沿岸国道事務所HP

本町における交通に関する現状・問題点を踏まえ、公共交通の課題を整理します。

交通に関する現状・問題点

- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・公共交通への住民満足度が低い

➡公共交通需要の変化への対応と持続可能な交通体系の構築が必要

- ・自家用車への依存が高い状況
- ・高齢者の移動手段の確保、運転免許返納者への対応
- ・公共交通の利用者の減少

➡安全・安心の確保と利便性の高い公共交通の構築、交通事業者の持続的なサービス提供の維持が必要

- ・高齢者の移動手段として定着しつつあるきんぎょタクシー
- ・きんぎょタクシーの利用（運行形態等）への多様なニーズ

➡公共交通の一層の利用増進・サービス向上が必要

- ・鉄道（JR）の利便性の向上と駅及び周辺の快適空間づくり
- ・外国人居住者の増加
- ・新たな地域高規格道路や長洲港の利用促進
- ・ポストコロナの働き方・移動の変化への対応

➡だれもが利用しやすい公共交通サービスの提供が必要

公共交通の課題

①増加する高齢者の移動手段の確保

②利用者ニーズに対応した移動手段の確保

③誰もがわかりやすく、利用しやすい公共交通サービスの提供

④公共交通の利用機会の創出

⑤JR 長洲駅、長洲港における交通結節機能の強化

⑥デジタル技術を活用した効率化・利便性の向上